診療用高エネルギー放射線発生装置備付け届出書

平成　　年　　月　　日

（届出先）

 横浜市長

 住 所

 管理者

 氏 名

 診療用高エネルギー放射線発生装置を備付けますので、医療法第15条第3項の規定により、次のとおり

届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 区 分 | 新規 ・ 更新 ・ 移設 ・ その他（ ） |
| 病 院・診療所 | 名 称 |  | 病床 | 有（　　床）・無 |
| 所在地 | 〒電 話  |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置 | 製作者名 |  |
| 型式 |  |
| 台数 |  |
| 定格出力 | 電子線 | ＭｅＶ （最大値）  | Ｇｙ／分at 1m （最大値）  |
| エックス線 | ＭｅＶ （最大値）  | Ｇｙ／分at 1m （最大値）  |
| 使　用　室　名 |  |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置及び診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要 | 別紙のとおり |
| する医師・歯科医師及び診療放射線技師診療用高エネルギー放射線発生装置を使用 | 氏名 | 生年月日 | 職種 | 放射線診療に関する経歴及び免許番号　　　 |
|  |  |  |  |
| 予定使用開始時期 | 　　年 　 月 　 日  |

別紙

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 及び予防措置の概要の防止に関する構造設備線発生装置の放射線障害診療用高エネルギー放射 | 発生管容器の利用線すい以外の放射線量が利用線すいの放射線量の1/1000以下になるよう遮へいされている構造 | 有 ・ 無 |
| 照射終了直後の不必要な放射線から被ばくを低減するための防護措置 | 有 ・ 無 |
| 放射線発生時にその旨を自動的に表示する装置 | 有 ・ 無 |
| 使用室の出入口開放時の放射線の発生（照射）を遮断するインターロック | 有 ・ 無 |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要 | 主要構造部等の構造 | 耐火構造 ･ 不燃材料 ・ その他（ ） |
| 使 用 室 の 防 護 物 | 区分 | 構造､材料及び厚さ（ｃｍ） |
| 天井 |  |
| 周囲の画壁等 |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 出入口の扉 |  |
| 　床　 |  |
| 線量測定口 | 有（ 箇所） ・ 無 |
| その他の開口部 | 有（用途 　　 ） ・ 無 |
| 出入口の数 | 通常口 ( 箇所) ・ その他（用途 ） |
| 監視用モニター装置等 | 有 （ 　 台） ・ その他（ 　 ）・ 無 |
| 装置使用中の自動表示（電源投入時） | 有 ・ 無 |
| 放射線発生時の自動表示 | 有 ・ 無 |
| 使用室の標識 | 有 ・ 無 |
| 放射線障害防止に必要な注意事項の掲示 | 有 ・ 無 |
| 画壁の外側における実効線量が1mSv/週以下となる措置 | 有 ・ 無 |
| 放射化物保管設備 | 有 ・ 無 |
| 放射化物のみを保管廃棄する保管廃棄設備 | 有 ・ 無 |
| 管理区域 | 管理区域を設ける場所 |  |
| 境界における実効線量（最大値） | mＳｖ／３月  |
| 立入り制限措置 | 有 ・ 無 |
| 標識 | 有 ・ 無 |
| 敷地の境界 | 敷地内居住区域及び敷地の境界における実効線量（最大値） | 　 μＳｖ／３月  |
| 患者の被ばくする放射線（診療により被ばくする放射線を除く。）の実効線量（最大値） | mＳｖ／３月  |
| 取扱者の被ばく測定器具 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室に設置予定のその他の装置 | 有（装置名、型式、用途及び放射線障害予防措置） ・ 無 |
| 手術室での使用の有無 | 有（装置名、形式、用途及び放射線障害防止措置）・無 |